

事務事業実績測定調書

10631010008	業務改善・職員提案推進事務		
測定年度	2019(R1)年度	11000100	総合政策部行革推進課
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり	
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます	
	取り組みの方向	98.効率的・効果的な行政経営を進めるため、事務事業の見直し・改善、民間活力の活用など行政改革の取り組みを進めます。	
	実行計画事業名	行政改革推進事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2014(H26)年度(業務改善制度)年度 1988(S63)年度(職員提案制度)年度		~		
根拠法令等	決裁・枚方市職員提案規程				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	職員一人ひとりの改善意識の向上や業務改善活動の組織風土化により、庁内が活性化するとともに、業務の効率化や市民サービスの向上、経費削減等の効果を生み出している状態。				
事業概要	<p>【業務改善制度】各職場単位での取り組みを進め、年度末には、各部で取り組んだ業務改善のうち、優れている活動に対し、表彰・褒賞を行う。褒賞は、褒賞区分により、3千円~2万円の図書カードとする。また、業務改善事例集の作成や、業務改善に係る研修会の開催など、職員が取り組む業務改善に対し、側面的な支援を行う。</p> <p>【職員提案制度】市役所全体のサービスアップ、イメージアップ等につながる新たな提案を募集し、年2回、職員投票と庁内の審査委員会において審査を行い、優れた提案に対して表彰・褒賞を行う。褒賞は、1万円または3千円の図書カードとする。「実施」と決定された提案については、担当部署において実施に向けた取り組みを行う。</p>				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	業務改善研修の満足度 【算出式:業務改善研修のアンケートにて、全体評価が4、または5(5段階評価)の人数/研修参加人数 × 100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	100	100	100	100		
実績	94.8					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.20	0.20	0.20
正職員数	0.20	0.20	0.20
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	1,575	1,590	1,603
正職員人件費(換算額)	1,575	1,590	1,603
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	181	453	373
■事務事業の総計(千円)	1,756	2,043	1,976
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	1,756	2,043	1,976

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	94.80%	80%以上100%未満 : やや高い
事務事業の実績	<p>【業務改善制度】各職場における業務改善事例を取りまとめた「業務改善事例集」(平成30年度実績)を発行した。・行革推進リーダー及び係長以下職員を対象に業務改善研修を実施した。(参加者数43人)・各職場から151の業務改善事例が報告され、その内、優秀賞3事例、努力賞4事例が選ばれ、優秀賞及び改善事例の最も多かった部署を改善最多賞として表彰した。</p> <p>【職員提案制度】第33回職員提案の募集を令和元年(2019年)4月から9月まで、第34回職員提案の募集を令和元年(2019年)10月から令和2年(2020年)3月まで行った。・第32回職員提案(平成30年度に募集)では20件、第33回職員提案では16件の提案があり、審査の結果、「実施を行うものとする提案」を6件選出した。また、第34回職員提案の提案件数は21件で、令和2年度(2020年度)に審査を行う。・第33回職員提案から、実現性を審査ルートに含まない「アイデア賞」を創設した。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	<p>【業務改善制度】引き続き褒賞区分の見直しによる、改善事例数への影響を検証するとともに、さらなる制度の充実・活性化に向けた取組を行う。</p> <p>【職員提案制度】職員提案制度を効果的に運用するためには、より多くの部署・職員が本制度を身近に感じ、参加しやすいものとする必要がある。見直しによる効果や他市の状況等も踏まえ、今後も引き続き、制度の在り方を検討する。</p>	

事務事業実績測定調査

10631010009	新行政改革実施プラン推進事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	11000100	総合政策部行革推進課
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり	
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます	
	取り組みの方向	98.効率的・効果的な行政経営を進めるため、事務事業の見直し・改善、民間活力の活用など行政改革の取り組みを進めます。	
	実行計画事業名	行政改革推進事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2016 (H28) 年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	新行政改革実施プランに掲げる改革課題がすべて達成された状態				
事業概要	<p>新行政改革大綱で示した行政改革の具体的な取り組みを推進するため、平成28年3月に策定した「新行政改革実施プラン」に掲げる各改革課題の達成に向けた進捗管理を進める。本プランは、新行政改革大綱で示した「事務事業の見直し」や「より強固な財政基盤の確立」などの改革に重点を置き、次の4つの改革を柱として、行政改革の取り組みを進める。</p> <p>【改革の柱】① 自主財源の確保と受益者負担の適正化② 事務事業等の見直し・最適化③ 行政の役割と責任を踏まえた効率的・効果的な行政運営④ スリムで機動力を持った組織体制の確立</p>				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	改革課題の達成数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	件
目標(予測)	53	53	53	53		
実績	37					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	4.75	1.85	1.90
正職員数	1.75	1.85	1.90
非正規職員数(計)	3.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	3.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	14,455	14,709	15,232
正職員人件費(換算額)	13,780	14,709	15,232
非正規職員人件費(計)	675	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	675	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	0	0	76
■事務事業の総計(千円)	14,455	14,709	15,308
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	14,455	14,709	15,308

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	69.80%	50%以上80%未満 : やや低い
事務事業の実績	<p>新行政改革実施プランに掲げるすべての改革課題について、市の各部組織が毎年度、重点的・集中的に取り組む施策や行政改革等を示した「部の運営方針」において、その年度に何をどこまで取り組むかを公表した。また、各改革課題の進捗を取りまとめ、「平成30年度の取り組み実績」として令和元年9月に公表した。</p> <p>【行革推進課が所管する主な改革課題及びその実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆外郭団体等の経営健全化の促進:平成29年度に実施した外郭団体等の経営状況等の点検・評価に対する各団体及び市の対応を取りまとめた「外郭団体等の経営状況等の点検・評価結果に係る対応方針」について、進捗管理を行った。 ◆使用料・手数料の見直し:受益と負担の公平性を確保するため、施設の使用料や手数料の基本的な考え方を示す「設定基準」を策定した。 	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方針	新行政改革大綱及び新行政改革実施プランは令和元年度で計画期間を満了することから、これまでの取り組み実績を踏まえ、令和元年度末に「行財政改革プラン2020」を策定した。今後は、同プランに基づき行政改革の取り組みを進める。	

事務事業実績測定調書

10631010010	指定管理者制度総括事務		
測定年度	2019 (R1) 年度	11000100	総合政策部行革推進課
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり	
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます	
	取り組みの方向	98.効率的・効果的な行政経営を進めるため、事務事業の見直し・改善、民間活力の活用など行政改革の取り組みを進めます。	
	実行計画事業名	行政改革推進事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2004 (H16) 年度		～		
根拠法令等	▼地方自治法第244条の2第3項 ▼地方市公の施設における指定管理者の指定の手続等に関する条例及び同施行規則				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	指定管理者の選定等が適正に行われ、その施設が適正かつ効率的に運営される。				
事業概要	指定管理者制度を導入あるいは更新するにあたり、指定候補者を選定するため、指定管理者選定委員会を開催する。				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	指定管理者を選定した施設数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	件
目標(予測)	3	3	3	10		
実績	3					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	14.20	9.55	8.35
正職員数	1.20	1.55	1.35
非正規職員数(計)	13.00	8.00	7.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	13.00	8.00	7.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	10,295	12,590	11,089
正職員人件費(換算額)	9,449	12,324	10,823
非正規職員人件費(計)	846	266	266
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	846	266	266
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	361	0	0
■事務事業の総計(千円)	10,656	12,590	11,089
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	10,656	12,590	11,089

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	100.00%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	<p>令和元年度で現行の指定管理期間を満了する施設(総合福祉センター)の指定候補者を選定するため、各施設ごとに指定管理者選定委員会(合議体)を設置し、4回委員会を開催した。選定は、「公募」の方法により行った。なお、教育委員会所管の施設(鍵屋資料館、香里ヶ丘図書館・みどりの広場)については、教育委員会において指定管理者選定委員会を設置し選定を行った。<各指定管理者選定委員会の流れ(公募)>第1回委員会:募集要項、仕様書及び選定基準の確認第2回委員会:事業者の応募状況及びプレゼンテーション方法の確認第3回委員会:応募事業者によるプレゼンテーションの実施第4回委員会:審査及びその結果を踏まえ合議・答申※「非公募(特定)」の場合は、第1回委員会で指定要項、仕様書、選定基準及び特定とする理由の確認を行い、第2回委員会で応募事業者によるプレゼンテーションの実施、審査及びその結果を踏まえ合議・答申を行うこととなる。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	平成28年3月に策定した「枚方市指定管理者制度に関する基本指針」に基づき、公の施設への指定管理者制度の導入・更新に際し、適正な事業者の選定に資する指定管理者選定委員会運営事務を、今後も継続実施する。	

事務事業実績測定調査

10631010011	事務事業実績測定等運営事務		
測定年度	2019(R1)年度	11000100	総合政策部行革推進課
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり	
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます	
	取り組みの方向	98.効率的・効果的な行政経営を進めるため、事務事業の見直し・改善、民間活力の活用など行政改革の取り組みを進めます。	
	実行計画事業名	行政改革推進事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2000(H12)年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	本市の事務事業の概要、実績度や今後の方向性など、事業の詳細情報を把握できる資料として、毎年継続的に実施、公表することで、市民等への説明責任が履行され、行政の透明性が向上し、市民の信頼を得られていると同時に、各事業の実績を毎年度測定することにより、実施内容やコスト配分等を振り返り、今後の事務事業の執行に反映し、また、本市の各種取組への二次的な利活用など、基幹的なツールとしての役割を果たすことを目的として実施することが出来る状態				
事業概要	本市のすべての事務事業を対象に、前年度の各事務事業の執行において投入したコスト(人件費・物件費)や取り組み内容等を表した「事務事業実績測定調査」を作成し、毎年9月に、決算関係資料として本市ホームページ等で公表を行う。				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	公表した事務事業数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	件
目標(予測)	—	1,100	1,107	1,112		
実績	1,025					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.30	0.30	1.80
正職員数	0.30	0.30	1.80
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	2,362	2,385	14,431
正職員人件費(換算額)	2,362	2,385	14,431
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	0	0	0
■事務事業の総計(千円)	2,362	2,385	14,431
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	2,362	2,385	14,431

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	—	
事務事業の実績	<p>令和元年度(平成30年度実績)事務事業実績測定を1,025件実施するとともに、同実績測定調書を市ホームページにおいて公表した。</p> <p>昨年度から事務事業経費の増加が大きい理由は、令和元年度により効果的な事務事業の測定を実施するべく、各事務事業に対し、ロジックモデル(ある事務事業がその目的を達成するに至るまでの論理的な因果関係を示したもの。)や指標の設定を行ったことから、昨年度と比較し、配置した正職員数が増加したためである。</p>	
今後の方向性	改善	
具体的な 今後の取組方策	令和元年度に設定したロジックモデルや指標をもとに、行政評価システムの改修等、効果的な測定が実施できるような取組を進めていく。	

事務事業実績測定調査

10631010013	組織管理・事務管理事務		
測定年度	2019(R1)年度	11000100	総合政策部行革推進課
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり	
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます	
	取り組みの方向	98.効率的・効果的な行政経営を進めるため、事務事業の見直し・改善、民間活力の活用など行政改革の取り組みを進めます。	
	実行計画事業名	組織体制充実事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		～		
根拠法令等	◆地方自治法第158条・159条◆地方自治法施行令第123条・第124条・第128条◆枚方市附属機関等の設置等に関する規程◆枚方市庁内委員会規程◆枚方市職員の事務引継ぎに関する規程				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	社会状況等に応じた機構改革が実施され、各附属機関等や庁内委員会の設置形式や委員構成等の適正化が図られている。人事異動や退職等に伴う引継ぎが適切に行われることにより、事務事業の円滑かつ効率的な推進が図られている状態。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆社会状況等の変化に応じて効率的でバランスのとれた組織を構築するとともに、市長の公約施策の推進に向けた組織体制を確立することを目的に、原則として定期人事異動にあわせて機構改革を実施する。 ◆附属機関等における実質的・専門的な審議を確保するため、附属機関等設置構成協議会において、各附属機関等の設置の形式や、委員構成を決定する。また、附属機関等の委員選任における公正性・透明性を高めるため、事前の協議により、各所管部署に選任基準(①在任期間、②兼職、③女性比率)の確保を求める。 ◆庁内委員会新設・改廃事務 ◆事務事業の円滑かつ効率的な推進を図るため、原則として課長代理以上の異動・退職等を行う職員に事務引継ぎ書の作成及び引受者への引き渡し、及びその写しの提出を求める。 				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	組織(課)の数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	課
目標(予測)	—	60	60	60		
実績	60					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	1.35	1.21	1.10
正職員数	1.35	1.21	1.10
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	10,630	9,621	8,819
正職員人件費(換算額)	10,630	9,621	8,819
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	0	0	0
■事務事業の総計(千円)	10,630	9,621	8,819
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	10,630	9,621	8,819

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	—	
事務事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ◆市民サービスの向上や行政課題への対応強化を図るため、より効率的で機能的な業務体制の確立をめざし、令和2年4月1日付で機構改革(市役所の組織の改編)を実施した。 ◆附属機関等設置構成協議会を7回開催した。このほか、附属機関等の委員選任確認において、①在任期間、②兼職、③女性比率の確保を求めた。 ◆3月31日付退職及び4月1日付人事異動等に係る事務引継書の作成を求めた。 	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	<ul style="list-style-type: none"> ・組織体制について、現下の社会的状況への対応に係る必要な整備を検討する。 ・附属機関については、「附属機関等の設置に関する基本指針」及び「附属機関等の設置等に関する規程」に基づき、その設置形式や委員の選任確認等において、公正かつ円滑な運営を図る。 ・その他事務についても適正な執行に努める。 	

事務事業実績測定調査

10631010014	品質管理運用事務		
測定年度	2019(R1)年度	11000100	総合政策部行革推進課
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり	
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます	
	取り組みの方向	98.効率的・効果的な行政経営を進めるため、事務事業の見直し・改善、民間活力の活用など行政改革の取り組みを進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2004(H16)年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民の窓口対応に関する意見やニーズを踏まえ、窓口業務担当課職員・および職場の対応を改善し、さらなる市民満足度の向上を目指している状態。				
事業概要	平成16年3月にISO9001の認証を取得して以降、品質管理に係る取り組みを進めてきたが、平成25年3月に対象業務の品質向上にかかる仕組みの定着化等の理由からISO9001の認証継続を辞退し、これまで培ったノウハウを活かし、平成26年5月から本市独自の「品質マネジメントシステム」として運用を開始。市民に提供する行政サービスのうち、窓口業務を対象に、来庁者アンケートの実施や職員への教育・訓練等による継続的な業務改善を行った。その結果、品質向上に係る取り組みの定着化及び市民満足度の維持・向上が図れていることを踏まえ、平成28年度に運用を終了した。平成29年度以降は、各部署の自発的な取り組みとして、品質向上の取り組みを継続することとしており、目標設定及び来庁者アンケートについても、市民満足度の維持・向上に係る状況の把握を行う観点から引き続き実施していく。				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	来庁者満足度 【算出式: 窓口アンケートにおいて、「満足」「概ね満足」の回答数の合計/全回答数 × 100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	100	100	100	100		
実績	97.54					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.10	0.10	0.10
正職員数	0.10	0.10	0.10
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	787	795	802
正職員人件費(換算額)	787	795	802
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	0	0	0
■事務事業の総計(千円)	787	795	802
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	787	795	802

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	97.54%	80%以上100%未満 : やや高い
事務事業の実績	対象部署(一般市民との対応を想定した窓口を恒常的に設置する部・課等)31部署において窓口アンケートを実施し、513枚のアンケートを回収した。結果については、「満足」が75.84%、「概ね満足」が23.99%、「やや不満」が1.81%、「不満」が0.65%となった。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	市民満足度の維持・向上に係る状況の把握やさらなるサービス向上に繋げる観点から、品質目標の設定、窓口アンケート及びそれらの結果の庁内共有を引き続き行っていく。	

事務事業実績測定調書

10631010069	窓口業務等のアウトソーシング事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	11000100	総合政策部行革推進課
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり	
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます	
	取り組みの方向	98.効率的・効果的な行政経営を進めるため、事務事業の見直し・改善、民間活力の活用など行政改革の取り組みを進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2018 (H30) 年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	来庁する市民が極力移動することなく、ワンストップで手続きを行えている状態。あわせて、窓口業務のアウトソーシングにより、職員が本来業務に注力できている状態。				
事業概要	窓口業務のアウトソーシング導入に係る検討(窓口の形態、委託範囲、委託形態等)を行う。				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	アウトソーシング導入を行った窓口業務数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	業務
目標(予測)	—	45	0	0		
実績	0					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.00	0.00	0.10
正職員数	0.00	0.00	0.10
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	0	0	802
正職員人件費(換算額)	0	0	802
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	0	0	0
■事務事業の総計(千円)	0	0	802
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	0	802

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	-	
事務事業の実績	平成30年度より検討を進めてきた窓口業務等のアウトソーシング化の方向性について、令和元年5月に「窓口業務等のアウトソーシングに係る考え方」としてまとめた。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	令和2年度において、「アウトソーシング」、「ICT導入」、「直営」のベストミックス(最適化)をめざし、民間事業者のノウハウや経験を活かした業務調査に着手し、具体的なアウトソーシングのさらなる検証を進める。	

事務事業実績測定調書

10631040001	公共施設等総合管理事務		
測定年度	2019(R1)年度	11000100	総合政策部行革推進課
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり	
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます	
	取り組みの方向	101.公共施設等について、少子高齢化・人口減少の進展や利用需要の動向を踏まえ、機能見直しや統廃合などにより、その有効活用や最適な配置を進めます。	
	実行計画事業名	公共施設等総合管理事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		～		
根拠法令等	決裁等				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公共施設全般に係る総合的かつ計画的なマネジメントを本市全体で統一的、効率的に推進し、将来の人口構造や人口規模に合わせた公共施設の総量の適正化が図られ、今後も適切な公共サービスが維持される状態。				
事業概要	公共施設等について、総合的かつ計画的に管理していくための「枚方市公共施設マネジメント推進計画」を策定し、施設評価及び個別施設計画の策定に向けた取り組みを進める。				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	市民一人あたりの公共施設面積 【算出式:市所有の公共施設の延床面積/市の人口】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	㎡
目標(予測)	1.9	1.9	1.9	1.9		
実績	1.9					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	2.60	2.60	1.15
正職員数	2.60	1.80	0.75
非正規職員数(計)	0.00	0.80	0.40
再任用職員数	0.00	0.80	0.40
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	20,472	18,250	8,052
正職員人件費(換算額)	20,472	14,312	6,013
非正規職員人件費(計)	0	3,938	2,039
再任用職員人件費(換算額)	0	3,938	2,039
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	0	1,782	682
■事務事業の総計(千円)	20,472	20,032	8,734
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	20,472	20,032	8,734

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	100.00%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	<p>令和2年3月に「平成30年度施設カルテ」及び、施設カルテに基づく施設評価の「平成30年度一次評価・二次評価」の作成及び公表</p> <p>令和2年3月に「個別施設計画(総合編)素案」の作成及び公表</p> <p>庁内委員会開催回数:6回(公共施設マネジメント推進委員会)</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	<p>引き続き毎年度の施設カルテの作成及び、一次、二次の施設評価を実施します。</p> <p>また、令和2年度中に個別施設計画(総合編)を作成・公表し、公共施設マネジメントを推進していきます。</p>	

事務事業実績測定調書

10999990003	行革推進課運営事務		
測定年度	2019 (R1) 年度	11000100	総合政策部行革推進課
総合計画体系	基本目標	9: 施策体系外	
	施策目標	99: 施策体系外	
	取り組みの方向	99: 施策体系外	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		~		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	行革推進課の庶務事務等の正確かつ迅速な運営執行が図れている状態。				
事業概要	課の運営業務				

2. 指標推移

指標種類	指標設定なし					
指標の説明	—					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	—
目標(予測)	—	—	—	—		
実績	—	—	—	—		

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.20	0.50	0.30
正職員数	0.20	0.50	0.30
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	1,575	3,976	2,405
正職員人件費(換算額)	1,575	3,976	2,405
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	24	28	500,004
■事務事業の総計(千円)	1,599	4,004	502,409
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	1,599	4,004	502,409

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	—	
事務事業の実績	<p>課内の運営及び庶務事務については、適正かつ迅速に遂行した。 庁内委員会新設・改廃事務についても、所管部署と協議を行うなど、適正に事務を遂行した。 なお、今年度において、「この街に住みたい基金」を新規設立したため、昨年度から事務事業経費が大幅に増加することとなった。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	庶務関係事務等を正確かつ迅速に処理することにより、所管事務を円滑に遂行する。	